

2015年度 生存学研究センター若手研究者研究力強化型 募集概要

1. このプログラム実施の目的・性格

本研究センターにおける研究活動の高度化・国際化を促進させるために、「生存学」における研究テーマに沿った研究プロジェクトに対し、プロジェクト研究に必要な研究資金の全額または一部を交付するものです。また、本センターはGCOEプログラムの後継拠点であり、若手研究者育成に取り組んでおりますので、専門研究員や院生など若手研究者の参加を必須とします。

また、研究プロジェクトの研究推進活動について、①定期的研究会開催型 ②調査・報告型 ③講師招聘イベント型 のいずれのタイプにあてはまるか、申請時にあらかじめ選択してください。

尚、本年度は図書出版・生存学研究センター報告での発表等、年度内に研究成果物を出すことを予定しているプロジェクトを優先して審査致します。(詳細以下「3. 申請調書の記入について」参照)

これらの申請情報は、審査の参考として活用します。なお、「研究活動成果発信」に関わるものについては、別プログラム(※)にて募集を行っておりますので、そちらの概要を参照してください。

※2015年度若手研究者研究力強化型「国際的研究活動」研究費 前期募集、本申請と同期間にて公募中。

注) 2013年度まで同助成の後期募集を行っていましたが、2014年度より年間を通じて1回のみ募集形態をとっております。各位この機会を逃さないように応募されることを願います。

2. 募集内容

	記入上の注意点
研究代表者の申請資格	立命館大学生存学研究センター運営委員 *本学の専門研究員、または大学院生を1名以上メンバーとすること。 *多数のプロジェクトに参画し、研究代表者または分担者としての責任が果たせなくなるよう留意すること。 また、大学院生については、1人1プロジェクトのみ参加を原則とするが、同一人物が複数のプロジェクトに参加する場合には、申請調書の所定欄を用いてその理由を記載すること。
助成対象経費	プロジェクトで行う研究活動経費(旅費・消耗品費等) * 「学会出張」「参加旅費」等については、このプログラムでは全員申請不可
申請・助成期限	申請期限：2015年6月5日(金) 16時必着 執行期限：2016年1月29日(金) 厳守(執行期限延長を認めない)
研究内容	生存学研究センターの研究内容と関連するものとする
助成金額	1件につき30万円を上限とする全額またはその一部

【運営委員】

立岩真也、小川さやか、渡辺克典、村上潔、井上彰、上野千鶴子、大谷いづみ、栗原彬、小泉義之、齋藤龍一郎、サトウタツヤ、千葉雅也、長瀬修、中村正、西成彦、林達雄、Paul Dumouchel、松原洋子、望月昭、望月茂徳、やまだようこ、渡辺公三

3. 申請調書の記入について

- ① 研究メンバーの人数は最低2名(研究代表者(運営委員)1名・研究メンバー1名)でもよいが、着実な研究推進および生存学研究センターに貢献する研究成果発表が可能な体制であること。
- ② 研究メンバーは、以下の通り定義する。

研究代表者 生存学研究センター運営委員で、研究課題を統括し、研究計画の遂行、研究成果のとりまとめや公表、経費執行管理などすべての責任を持つ者。

研究分担者 生存学研究センター運営委員、本学専任教員、任期制教員(助教を含む)、特別任用教授、特命教授、特別契約教員、特別招聘教員、研究教員(特別招聘研究教員・招聘研究教員、研究教員、客員研究教員)、研究職員(専門研究員・研究員・補助研究員、リサーチアシスタント)、生存学研究センター所属の客員研究員、研究指導助手、博士課程院生(前後期)および一貫制博士課

程1回生以上で研究計画の遂行にあたり研究代表者と共同して中心的な役割を果たし、研究成果公表にあたり実質的に参画する者、本学非常勤講師、本学に所属する日本学術振興会特別研究員。

なお、日本学術振興会特別研究員は、研究分担者として参加することはできるが、特別研究員における専念義務があるため、旅費以外の研究費の支援を受けることはできない。申請調書に記載する場合は、該当者の右肩にアスタリスク（*）を付記すること。

③ 研究経費の使途

- ・ 旅費（国外・国内）、機器備品費、消耗品費、印刷・製本費など、研究計画の遂行に必要となる経費および研究成果の取りまとめに必要な経費を対象とする。
- ・ 「研究メンバーの学会出張に関する参加費および旅費」「アルバイト代謝金」並びに「対象外の経費（研究会の茶菓子代等）」や目的外の使用については認めない。
- ・ 執行は、本学規程に準じる。執行できる経費については、研究部作成の「研究費執行ガイドブック 2015年度版」を参照。（研究部HP：<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/file/001/011/011-p01.pdf>）
- ・ 院生が研究費執行を申請する際には、必ず研究代表者（運営委員）の承認を得ること。

研究推進タイプについて(説明)

① 定期的研究会開催型

過年度より継続して開催されている研究会等の活動推進費等を想定。

② 調査・報告型

国内外の調査旅費等を想定。国外調査に関しては、「海外連携予算」への追加申請を認める。

③ 講師招聘イベント型

講師招聘費等を想定。国外からの招聘については、「企画・イベント連携予算」への追加申請を認める。

④ 研究成果発表について

- ・ 先述した通り、2015年度は年度内に研究成果物を出すことを予定しているプロジェクトを優先して審査を行う。調書内「2. 研究計画・方法・研究成果発表の方法」にその旨記載するだけでなく、出版計画書や見積り等、実現可能性が分かる資料（様式自由）を添付することを可とする。

4. 成果報告等

活動終了後、2016年2月末日（予定）までに、所定の「生存学研究センター若手研究者研究力強化型実績報告書」を提出願います。報告書提出要領の詳細は、採用決定後に通知します。なお、②調査・報告型については、その成果発表の際に本研究支援を受けたことを表示してください。（記入の仕方については下記の例示を参照のこと）

- ・本研究は立命館大学生存学研究センター若手研究者研究力強化型の助成を受けたものです。
- ・This work was supported by the Research Center for Ars Vivendi, Ritsumeikan University.

5. 審査について

生存学研究センター若手研究者研究力強化型審査委員会による審査を経て、同運営委員会において採否を決定します。採否結果は、6月中旬を目処に研究代表者および実務責任者に通知いたします。

6. 申請方法等

所定の申請様式に基づきデータにて申請してください。

【申請期間】 2015年5月1日（金）～2015年6月5日（金）16時必着

【提出先・お問い合わせ先】

生存学研究センター事務局 **E-mail: ars-vive@st.ritsumei.ac.jp**

TEL:075-465-8475、内線：511-2819（平日9:00～17:30）FAX:075-465-8245

以上

本件について、5/18（月）11:00より学而館第2研究会室にて説明会を開催します。是非ご参加下さい。